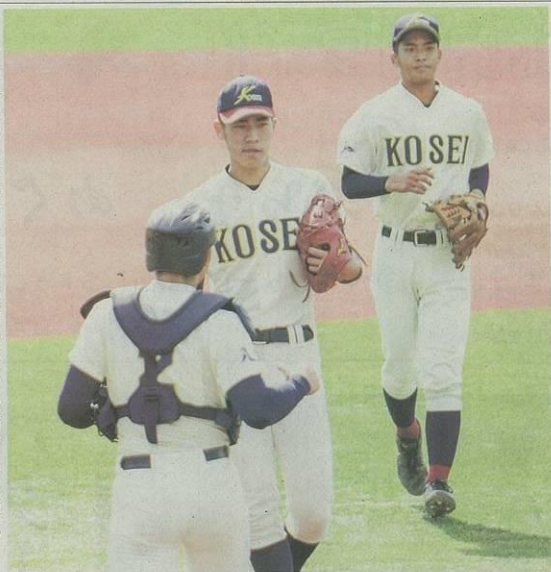


# 光星 攻守精彩欠く

柴田(宮城) 3300010000 26  
 八学光星(青森) 0000000000 26  
 ▼投手 谷本 柴田(八)  
 ▼捕逸 久守(八)  
 ▼試合時間 2時間39分  
 (球審 西尾 塁審 湊 森 洗平 久守)  
 ▼三塁打 横山(八) ▼二塁打 横山(八) ▼一塁打 横山(八)

【評】柴田が敵失に乗じて序盤で5点のリードを奪い、投げては先発谷本が2回に横山の満塁三塁打など、痛恨の12残塁をつな



【2回戦】柴田 八学光星 2回柴田1死満塁、守備の乱れから三塁打を招き、マウンド止に集まる八学光星ファン。石巻市民

## 序盤に守備乱れ終戦



焦 点  
 守備の乱れが致命的となった。八学光星は失策とバントの連続で、二回までには失点し、劣勢を挽回できないまま初戦で散った。2年ぶりのセンバツの可能性はほぼ消滅。仲井基監督は「弱い。プレートの硬さが目立ち、序盤で試合が崩れてしまった」と厳しい表情で語った。初回のピンチで、相手4番の右方向への打球が内野守備の目の前で跳ね上がり、先制を許した。本来であれば割り切って気持ちを切り替えない場面だったが、「痛恨のイレギュラー。守備の調子が狂ってしまった」と仲井監督。不運な当たりは、その後のプレーに波及し、久守雄志の得点につながる捕逸などで計3点を失った。

一回には悪い流れを断ち切るべく、主戦横山永遠がマウンドへ。「これ以上点はやれない」。闘志むき出して投球を続けたが、守備は一向に良かった。青森第1代表らしくないバントの処理ミスや暴投など適時打なしでさらに失点。「気持ちが先行し過ぎて、制球が定まらなかった。仲間との意思疎通、連携もあらかんじてしまった」と肩を落とした。

結果的にこの5失点が響いて終戦を迎えた。横山は「大事な試合こそ、声の掛け合いや連携の確認が大切。不用意なミスもなさない」と敗戦を重く受け止めていた。(上村公徳)

球	1	2	3	4	5	6	7	8	9	失	点	打	安	打	安	打	安	打	安
柴田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八学光星	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



【柴田-八学光星】7回八学光星無死一、二塁、佐藤航太が一飛に打ち取られ、好機を逃す

がりを欠いた。頼みの3番佐藤航太は初球を5番も計1安打と振るわず、力を出し切れなかった。4番松本翔、5番吉村航成もそれぞれ右飛、一飛に打ち取られ、絶好の反撃機を逸した。佐藤は「直球がショート回転し、内角の球に苦戦した。打てそうではなかった。もっとな意識を高めていかないと」と冬の課題を挙げた。